

粗大ごみ No. 1

東京都で粗大ごみとして出される数量の1位は「ふとん」です。

単位：個

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ふとん	973,735	1,029,193	1,034,811
箱物家具	1,009,388	859,707	863,797
いす(含むソファー)	601,905	716,416	750,877
合計	8,775,866	10,000,264	10,057,767
ふとん／合計(%)	11.1 %	10.3 %	10.3 %

出典：東京二十三区清掃一部事務組合/清掃事業年報(令和2年度)

寝具業界の「資源循環」への取り組み

これまで（～現在）

【製造工場】 端材、不良品等

産廃業者・自治体に依頼 ⇒ 廃棄・サーマルリサイクル

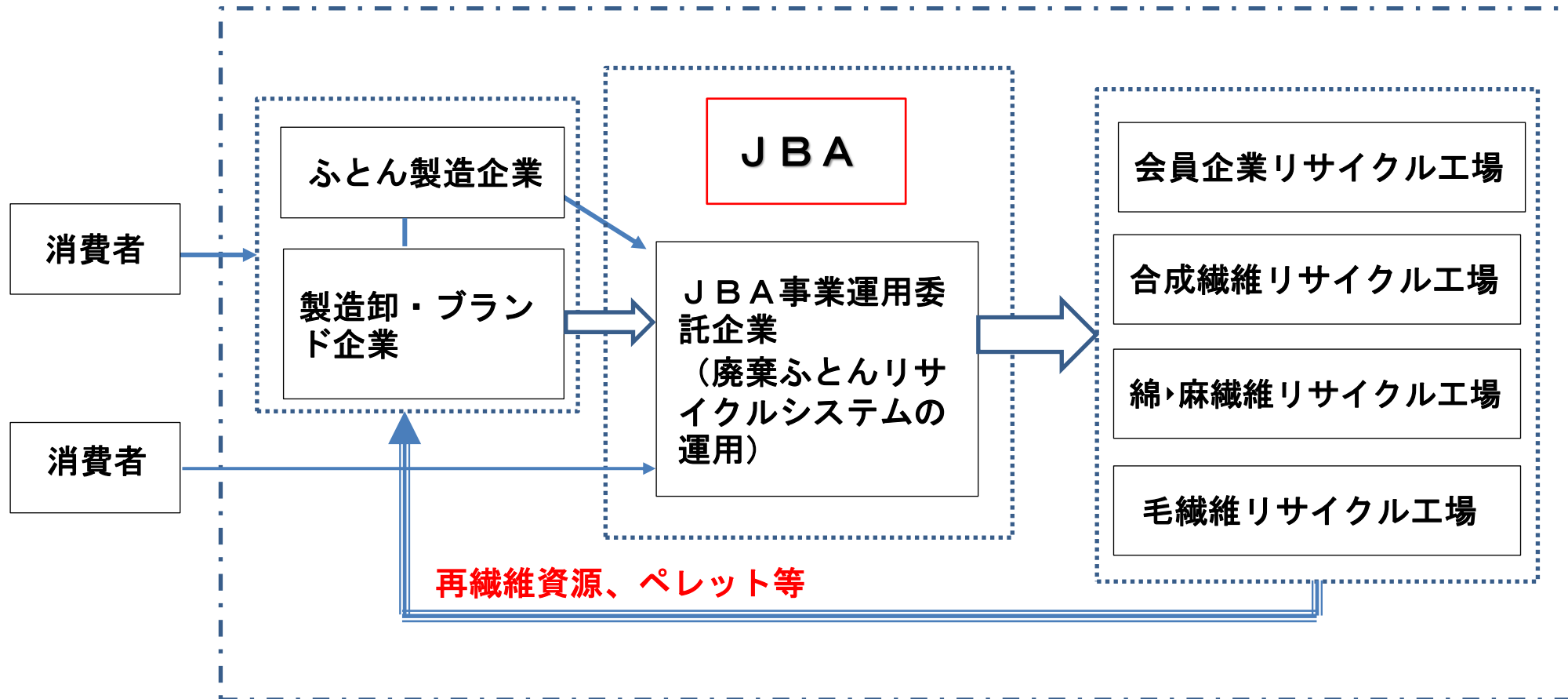
【小売業・卸売業】 不要・廃棄ふとん

小売業が回収 ⇒ 卸売業が集約⇒産廃業者等へ廃棄依頼

* 廃棄処理費 < リサイクル費用
* リサイクル原料使用=コストアップ } から消極的

寝具における資源循環の取組

廃棄ふとんリサイクル・ビジネスモデル概要



システム化範囲(情報のやり取りはWebを介して行う)

廃棄ふとんの循環型リサイクルモデルの構築：3か年計画

【2023年度】

ふとんの製造工程で発生する「端材」の
循環型リサイクル・ビジネスモデルの構築

【2024年度】

不要・廃棄ふとんの循環型リサイクル・ビジネスモデルの構築

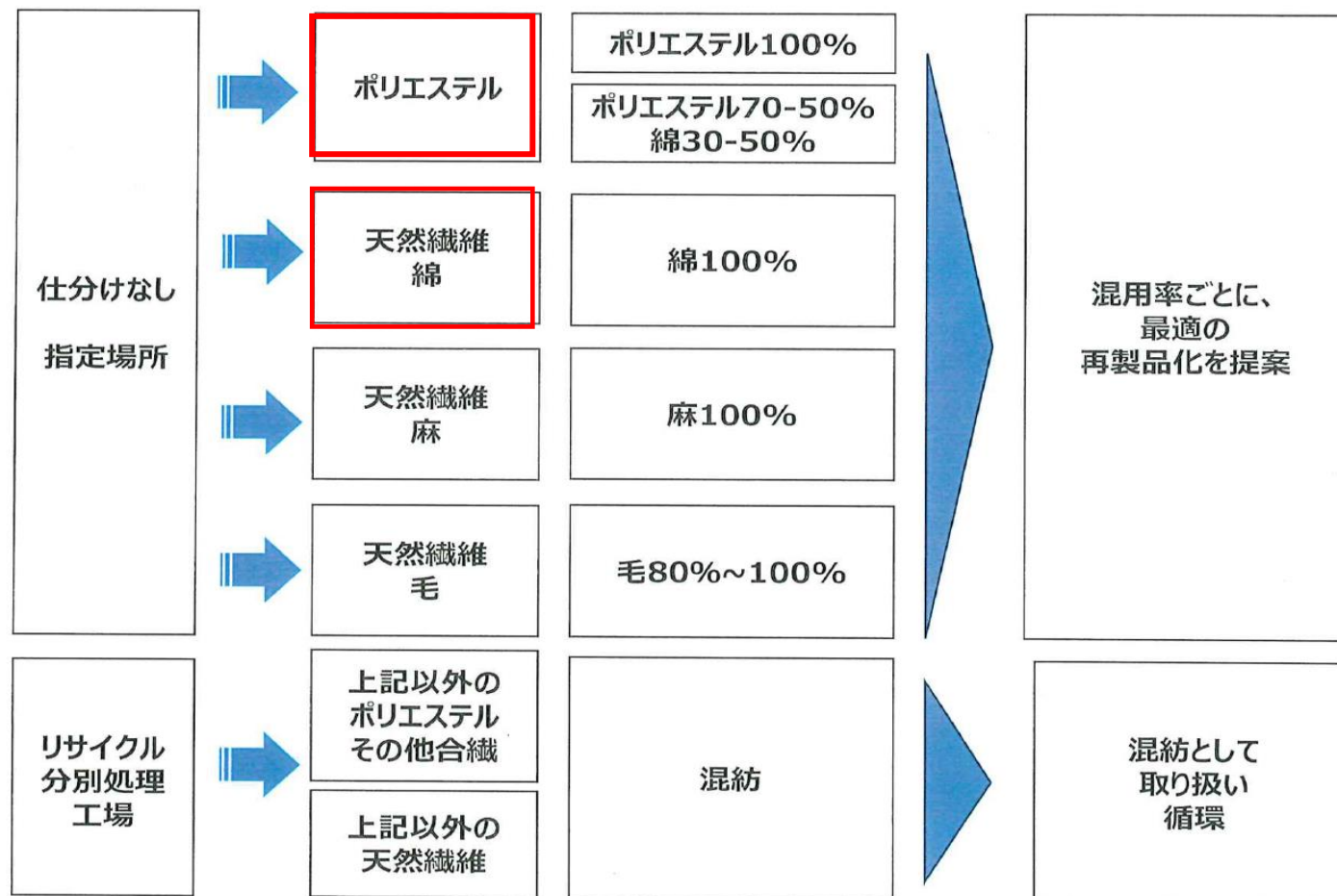
【2025年度】

不要・廃棄ふとんの循環型リサイクル・ビジネスモデルの構築・運用

寝具における資源循環の取組

循環型リサイクルモデルの構築：2023年度

端材のリサイクル



取り組みを進める上での「課題」

- 「専ら物」としての判断基準が各自治体ごとに違いがある。
- 寝具を取り扱う処理企業が少ない。
- 処理工場までの運送費の負担増